

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成 29 年 9 月 28 日 (2017.9.28)

【公表番号】特表 2016-536966 (P2016-536966A)
 【公表日】平成 28 年 11 月 24 日 (2016.11.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-065
 【出願番号】特願 2016-539586 (P2016-539586)
 【国際特許分類】

H 0 2 K 11/40 (2016.01)

H 0 5 F 3/02 (2006.01)

H 0 5 F 3/04 (2006.01)

H 0 2 K 11/028 (2016.01)

【F I】

H 0 2 K 11/40

H 0 5 F 3/02 N

H 0 5 F 3/04 B

H 0 2 K 11/028

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 8 月 17 日 (2017.8.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 9】

前記ホルダ (65) は、前記シャフト接触面 W に対してオフセットされるホルダ面 H 内に配置され、前記導体部 (62、63) は、前記ホルダ面 H から前記シャフト接触面 W へと傾いた態様で延びる移行部 (66、67) を有することを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の放電装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

他の実施形態にしたがって、ホルダから突出する自由導体部が長さを変えられ得るように部端がホルダ内に長手方向に移動できる態様で受け入れられれば、導体の自由屈曲長さを変え、それに伴ってシャフト接触部がシャフト外周に当接する際の接触力を変えることによって、接触力の大きさを調整することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

放電装置 10 は、メンテナンスカバー 15 に接続されるホルダ 16 を有する。特に図 1 及び図 2 の組み合わせられた図から明らかとなるように、手近な実施形態例の場合、ホルダ 16 は、好ましくはプラスチックから形成されるとともに U 形状ガイドチャネル構成部 1

8 が形成されて成るホルダ本体 17 と、手近な実施形態例では同様にプラスチックから形成されるホルダカバー 19 とを備える。ガイドチャネル構成部 18 は、導体 23 の取り付け部分 20 を受ける役目を果たし、前記導体の導体部 21、22 がガイドチャネル構成部 18 から抜け出て案内される。

【手続補正 4】

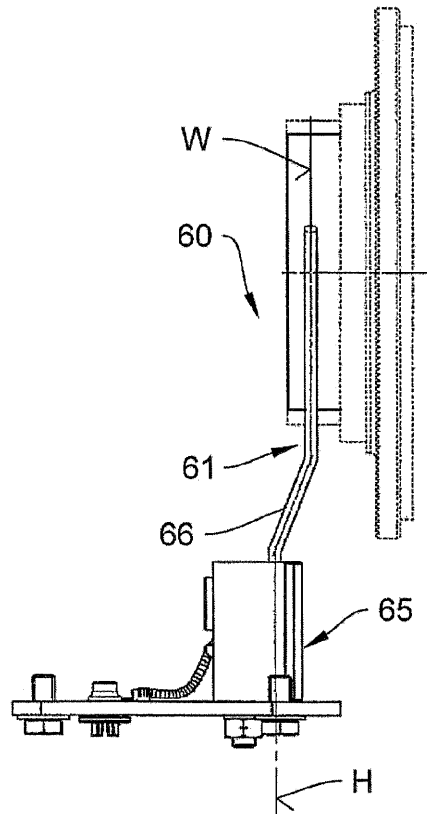
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】



【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6】

